

新副市長に 伴孝史氏 (元総務部長)

2月14日から3月定例会が開会しました。新年度予算案の審議を軸に、3月21日までの36日間にわたって代表質問や一般質問、議案の審議等が行われます。14日には、市長の施政方針のあと、新年度一般会計予算案や特別会計予算案、今年度

の補正予算案をはじめ、報告、人事、条例改正案など37件が提案されました。また、正木仙次郎副市長が2月末の任期満了をもって退任のため、副市長の選任を行い、新副市長に伴孝史氏(元総務部長)が選任されました。

大型公共事業、国スポ・障スポ開催経費等で過去最大規模

令和7年度の甲賀市の当初予算案は、一般会計予算案の462億2千万円で、国民健康保険や介護保険等の特別会計と水道事業等の企業会計と合わせ、総額793億円4300万円となりました。

一般会計では、貴生川駅周辺特区構想に基づく整備事業の測量設計等業務委託費6300万円、信楽小学校の改築工事14億円をはじめ、国スポ・障スポ開催、制度改正による児童手当の大幅な拡充、小学校特別教室空調整備等公共施設の設備修繕等により、前年度より1.3%6億円の増加で、過去最大規模の予算となりました。

新年度予算案は「若者・子育て世代に選ばれるまち」をめざすとして、新規事業にワカモノ会議の設置、国際観光映像祭誘致開催、従業員長距離通勤補助等、若者や子育て世代に重点が置かれています。一方で、長引く物価高騰のもと、市民の暮らしや地域経済を守る施策は十分なものとは言えません。党議員団はみなさんの要求実現に向け、予算をチェックし、本会議や委員会でも積極的に発言していきます。

単位老人クラブに補助

新年度から15名以上の会員で構成する単位老人クラブに対して活動支援の補助金がでます。「連合会に入っていないければ補助対象としないのは、補助要綱にも反する」と山岡議員が昨年三月議会一般質問で指摘していたもの。

新年度予算案 462億2千万円

西山実議員が代表質問

各会派による代表質問は26日に予定されています。日本共産党甲賀市議員団は、西山実議員が代表質問にたちます。主な質問は、①施政方針・新年度予算について、②市民のいのちと暮らしを守る立場から国政の焦点と市長の政治姿勢について、③災害から身を守る体制の抜本的強化、災害に強いまちづくりについて、④市政課題について、⑤投票所の再編についての5つのテーマ。市長の政治姿勢をただすとともに要求実現を求めます。

一般質問は、3日・4日・5日・6日の四日間開かれます。通告順に17名の議員が登壇します。岡田重美議員は5日一番目。山岡議員は最終日の6日二番目です。質問するテーマは、次の通り。リアルタイムでの傍聴、またあいコムこうかやネットでも中継しています。ぜひ傍聴にお越しください。

岡田重美議員は、①介護支援専門員(ケアマネジャー)への支援について、②甲賀市投票区域再編計画(案)について、③コミバス・コミタクのダイヤ改正、土山地域のライドシェア導入について、④南土山地区における安定型産業廃棄物最終処分場建設計画について、⑤主要地方道甲賀土山線の歩道整備についての五項目。

山岡光広議員は、①県立信楽学園の今後について、②道の駅あいの土山」の契約変更をめぐって検証、③市長の政治団体等について、④第六次学校図書館整備5か年計画の目標達成についての四項目。

土山地域で実証運行

初の「公共ライドシェア」

土山開発センターで行われたライドシェア出発式



4月からのコミバス・コミタクのダイヤ改正により、土山地域では大河原線、山内巡回線、末田大野小学校線の3路線のバスが廃止となります。市は代わって「公共ライドシェア」を導入するとして、12日から実証運行が開始されています。

実証運行では、土山を3エリアに分け、1エリア250円の料金で運行、鮎河から大野までの3エリアは750円となります(75歳以上の無料乗車券は使用不可)。ライドシェアは第1種運転保持者が自家用車で有償で運送する制度ですが、走行中の安全面や料金の負担など課題もみられます。

日本共産党

甲賀市議員団ニュース

2025年 2月 23日 第529号



山岡 光広
甲南町森尻 16
Tel 86-2985
Fax 86-0415



岡田 重美
土山町南土山甲 78-15
Tel 66-0696
Fax 66-0696



西山 実
水口町本丸 3-28
Tel 62-3044
Fax 62-3044